



審判副委員長

戦評用紙



種別 **バレーボール（聴覚）** 会場 **大野市エキサイト広場総合体育施設体育館**

平成 **30** 年 **10** 月 **13** 日 土曜日 第 **1** 日目

A コート 第 **4** 試合

1回戦(第 試合) 準決勝(第 1 試合) 3位決定戦 決勝戦 交流戦(第 試合)

◎試合結果 (該当する種別にレ印)

勝利チーム	}	25 — 19	}	1 愛知県
兵庫県 2		20 — 25		1 愛知県
都道府県、指定都市名		25 — 22		都道府県、指定都市名

【審判員】

主 審： 中村 英樹 副 審： 前川 法央
 記録員： 土井 良美 A・S： 田中 智子 A・S： 向岩 淳子

【戦 評】

記載者： 杉川 嘉郎

兵庫県と愛知県の準決勝。兵庫県は、西村選手の丁寧なトスと遠山、信田選手の高さのあるスパイクを中心とした攻撃、愛知県は、中橋選手の多彩なトスワークからの攻撃を持ち味とする両チームの白熱した対戦となった。

第1セット、序盤は両チームともに緊張から硬さが見られ、接戦の展開となった。中盤兵庫県は、粘り強いレシーブからリードを広げ、遠山選手のサーブで愛知県を突き放し、このセットを取った。

第2セット、後のない愛知県は、序盤から中橋選手の効果的なサーブで、兵庫県のレシーブを乱し、流れを掴む。兵庫県も遠山選手にボールを集め反撃するが、愛知県は田中選手の移動攻撃等でリードを守り、セットカウント1-1とした。

第3セット、序盤から一進一退の攻防が続く。終盤、兵庫県は、加賀選手を中心とした粘り強いレシーブからリードを奪うと、そのリードを守りきり決勝進出を決めた。